

令和3年度 第1回本宮市総合教育会議会議録

1 日 時 令和3年11月22日（月） 午後2時00分～午後3時57分

2 場 所 本宮市役所 3階 第1・第2常任委員会室

3 出席者	市長	高松義行
	教育長	松井義孝
	教育長職務代理者	谷明子
	委員	渡辺俊之
	委員	古宮博文
	委員	遠藤傳一郎

4 事務局職員	総務政策部次長兼総務課長	本多光雄
	参事兼政策推進課長	八木一志
	政策推進課政策推進係長	武藤正昭
	教育部長	菅野安彦
	教育部次長兼生涯学習センター長	根本享史
	参事兼管理主事兼指導主事	佐藤義和
	参事兼白沢公民館長兼歴史民俗資料館長	鈴木雅文
	参事兼教育総務課長	安藤守
	幼保学校課長	川名美和子

5 傍聴人 なし

6 協議事項

- (1) 成年年齢引き下げ後の成人式について
- (2) 歴史民俗資料館を含む文化施設の今後の方針について

7 審議経過

【午後2時00分開会】

◇市長 [あいさつ]

【協議事項】（要綱により市長が進行）

◇市長 成年年齢引き下げ後の成人式について事務局の説明を求める。

◇事務局 [成年年齢引き下げ後の成人式について説明]

◇市長 成年年齢引き下げ後の成人式について意見を求める。開催年齢についてはいかががお考えか。

◇古宮委員 アンケート結果により20歳で開催することでよいと思う。

◇遠藤委員 アンケート結果により20歳で開催することでよいと思う。

◇渡辺委員 18歳はまだ高校生ということもあるので、20歳で開催していただきたい。

◇市長 18歳でどうして開催しないのかという意見が後々でてくるのではないかと。幅を持たせて進めていく方がよいのではないかと。来年についてはアンケート結果を尊重し、20歳で開催することでよい。

次に、名称について意見をお伺いしたい。

◇古宮委員 「成人式」で問題ないかと思う。

◇谷教育長職務代理者 「成人」は法律では使われていない。使われていない言葉を使うのはいかなものか。

◇遠藤委員 「成人」の定義も18歳で決まってくるのではないかと。「成人式」には抵抗がある。「はたちを祝う会」「はたちの集い」など、具体的な名称の方が落ち着くのではないかと。

◇渡辺委員 数年は「成人式」で開催し、後に「はたちの集い」などにすればよいのではないかと。

◇松井教育長 20歳で開催するなら、「成人式」はそぐわないのではないかと。

◇市長 「成人」という言葉は使わない方がよいと考える。法律が変わり、18歳の立場も変わってくる。名称は今変えた方がよいのではないかと。

◇古宮委員 「式」が大切だと思っている。自覚を持っていただくためにも今後も使ってほしい。

◇市長 どういう名称がいいのか、本宮市としての考えのもとに決めていただきたい。



◇市長 歴史民俗資料館を含む文化施設の今後の方針について事務局の説明を求める。

◇事務局 [歴史民俗資料館を含む文化施設の今後の方針について説明]

◇市長 歴史民俗資料館を含む文化施設の今後の方針について意見を求める。

◇遠藤委員 しらさわカルチャーセンターの災害復旧と歴史民俗資料館の活用について両者をあわせた案が出されている。しらさわカルチャーセンターを改修して収蔵物の展示ホールにするという案に賛成できる。本宮市の人口規模で、しらさわカルチャーセンターとサンライズもとみやの二つは必要ではないと思われる。

◇古宮委員 しらさわカルチャーセンターは土器等を展示し、保管する場所に改修してはどうか。また、宿場町としての旧本宮町の遺産を見せられ、カフェ等がある施設を第1保育所跡地に建設してはどうか。みずいろ公園に集まる方々を施設に誘導できるのではないかと。

◇渡辺委員 しらさわカルチャーセンターの使用状況が低いと、そのまま復旧させるのはもったいないと思う。白沢公民館大ホールを小劇場とし、しらさわカルチャーセンターを文化財の収蔵施設に改修する案がよいのではないかと。

◇谷教育長職務代理者 収蔵物が多い、また、今の歴史民俗資料館に立ち寄る方は少ないと感じている。白沢公民館大ホールを小劇場とし、しらさわカルチャーセンターを収蔵しつつ見せられる施設に改修するのがよいと考える。宿場町の部分は本宮地区にという思いがある。資料館をみずいろ公園に隣接した第1保育所跡地に建設して、子ども達に歴史を知ってもらうのがよいのではないかと。

◇教育長 しらさわカルチャーセンターは収蔵物の展示兼保管施設に改修し、白沢公民館の大ホールを小劇場的な施設に改修する案がよいと思われる。

◇市長 以前は歴史民俗資料館の建物をカフェにしてはと思っていたが、福島県沖地震で考え方が大きく変わった。白沢公民館耐震化工事の前倒しと、白沢公民館大ホールの改修を一緒に行ったらよいと考えている。白沢ふれあい文化ホールを美術館にし、しらさわカルチャーセンターを文化財の収蔵庫として耐震改修を行いたい。大切な収蔵物は、水害の教訓により本宮地区に置くのは無理だと考える。白沢地区に移すためにも、しらさわカルチャーセンターを収蔵庫にしたい。白沢ふれあ

い文化ホールの中にある白沢地区の文化であった養蚕の展示物を新たな収蔵施設の一部に展示ホールを作り、そこに移転したい。収蔵品は全て新たな収蔵施設に移設し、現在の歴史民俗資料館は展示のみとしたい。来年度中に市の公共交通が大幅に変わる予定であり、白沢地区に行きやすくなる。議題にはないが、白沢公民館を中心とした一帯の環境は素晴らしい。夢図書館を日本に一つしかない図書館にしたい。美術館・文化財の収蔵施設・しらさわ夢図書館を一体的にとらえれば、一つの情報発信ができるし、人が集まりやすくなるであろう。英国庭園に集まっている方々が大勢いらっしやる。将来的に、近くに図書館・美術館があると発信をしていけば、更に人が集まるであろう。教育委員会で2、3年の間にどこまで行うか決めていただきたい。

—————◇—————

◇市長 協議を終了する。

【協議終了】

—————◇—————

【午後3時57分閉会】